学校法人麻上学園

幼保連携型認定こども園

さくら幼稚園

令和９年度　入園案内



理事長・園長　　大瀧　健太

SAKURA
KINDERGARTEN

〒０４７－０１５６
北海道小樽市桜１丁目５番１号
ＴＥＬ　０１３４－５４－６１０６
ＦＡＸ　０１３４－５４－９０１０

「楽しい」から、すべてが始まる。

子どもたちにとって、幼稚園は楽しい場所であってほしい。
「好き」「楽しい」「もっとやってみたい」。
その気持ちが、学びの原動力になる。
楽しいから好きになる。
好きだから、もっとやりたくなる。
もっとやったら、力になる。
力がついたら、個性になる。

個性が人格をつくり、人格が人とのかかわりを作る。
小さな『楽しい』が、
やがてその子の人生を動かす大きな力になる。

子どもたちが生きる世界
AIの答えを疑わなくなる未来。
AIの答えから外れることを怖がる未来。
迷えばAIの通りにする未来。

それは、本当に“自分の人生”なのか？
『人生』は人（ひと）生きる（いきる）で人生。
自分で考える。
自分で選ぶ。
自分で決める。
そして、自分の人生を歩んでいく。
完璧ではない答えから自分の人生を
生き抜く強さが育つ。

幼稚園は「正解」を教える場所ではない

「こういう人になりなさい」と、
子どもの未来を決めるのではない。
子ども自身が、
「やってみたい」
「こうしてみよう」
「私はこう思う」
と、自分の気持ちや考えに気づいていく。
挑戦して、
失敗して、
考えて、
また挑戦する。
友達と関わりながら、自分とは違う考えに出会う。
その一つひとつの経験が、
自分も世界を形づくる１人なのだと気づいていく。

合言葉は

「なりたい自分になれる場所」

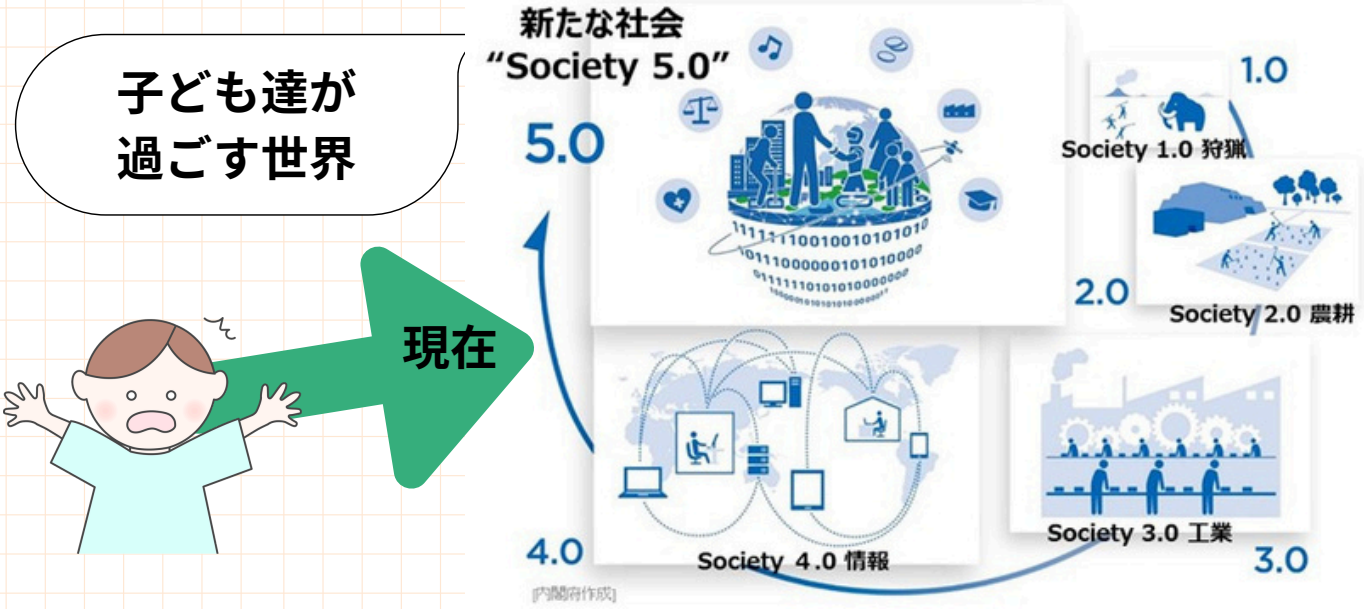
「警察官になりたい！」「ケーキ屋さんになりたい！」
というものではなく、
今日その瞬間に、
楽しいと思えることを見つけ、
好きなことを大切にし、
自分らしく挑戦する。
そこにやりたいものはあったか？
欲しい物はあったか？
明日の自分を想像したか？
その積み重ねが何者でもない自分を作る。

自分にしかない魅力に
この世界は貴方にしかできない役割を与える。

学校法人 麻上学園
認定こども園 さくら幼稚園　園長

『ソサエティ５．０』を過ごす子ども達に向けた新しい教育

図）内閣府ホームページより



上の図は社会の変化です。狩りをしていた時代（Society 1.0）、田畑を耕し生活をしていた時代（Society 2.0）、工業が盛んになった時（Society 3.0）、誰もがインターネット（情報）に繋がった時代（Society 4.0）と歩みを続けています。そして、今後子ども達が過ごす未来（Society5.0）では仮想空間と現実空間を融合させたシステムにより、様々な課題が解決され更に物事が便利になるといわれています。

Society１～2まで○○万年、Society2から3まで○○千年、Society3から4まで○○百年と、次々と加速している人類の社会的変化。Society4から5までは数十年で到達するのです。この事によって、まだ見ぬ確実に訪れる社会に対し、私たちは未来に合った人間の育成をしていければいけません。

今の子どもたちの 65%は今は存在していない職業に就き、雇用者の約 47%の仕事が自動化される”といった予測もあります。
将来の変化を予測することが困難な時代を生きる子どもたちに
対しては、社会の変化に受け身で対処するのではなく、自ら課題を発見し、他者と協働してその解決を図り、新しい知・価値を創造する力を育成することが大切です。

そのために私たちは「何を教えるか」だけでなく、子たちに「どのように学ぶか」という場をつくり、課題の発見と解決に
向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させていくことが求められています。

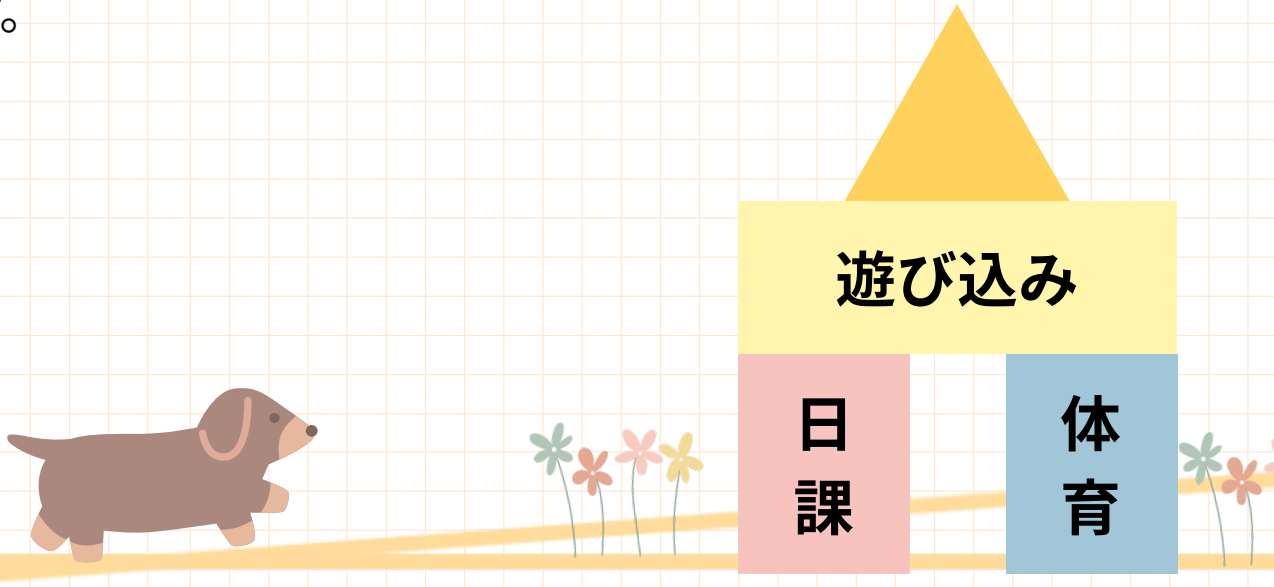
さくら幼稚園の遊びを支える3つの柱

― 自由遊びという言葉を“言い訳”にしないために ―

近年、「遊び」や「幼児主体」という言葉だけが独り歩きし、あたかも“子どもが自由に遊んでいればそれでよい”という風潮が広がりつつあります。 文部科学省の幼稚園教育要領でも主体的な遊びが強調され、まさに現在のトレンドと言える状況です。
しかし、私たちは問い続けなければなりません。 子どもが自由に遊ぶことで何を得るのか。 そして、自由に遊ぶだけでは何が得られないのか。
今日の遊びをどう理解し、明日の遊びへどんなヒントを渡していくのか。 子どもの土台を大人が丁寧につくり、幼児教育のプロとして成長のロードマップを柔軟に描いていく――
それこそが幼稚園の役割です。

さくら幼稚園では、子どもの「楽しい」を引き出し、遊びをより豊かにするために、自由遊びをただ“任せる”ものとして扱いません。

子どもが遊び込む力を育てるために、園には 3つの柱 があります。



①『遊びの時間』(総合)



幼稚園教育要領の改訂により「遊び」がより重視されるようになりました。
当園では**「なりたい自分になる」**を合言葉に、子ども主体の活動となるよう、きっかけづくり・助言・環境構成を行っています。子どもたちは遊びの中で生まれる問題、発見、アイディアを共有しながら継続的に活動し、自尊心を育みます。この毎日の積み重ねが「自分たちの幼稚園」をつくり、自分の居場所や存在意義を感じ、自己肯定感や非認知能力を育てていきます。
※非認知能力…IQでは測れない力（粘り強さ・協調性・自制心など）

②『体育活動』(体)

脳を活性化し、健康な体を育て、自己表現の基盤を作る時間です。体を動かす経験は、子どもの意欲や集中力を高め、遊びの質を大きく押し上げます。「できた」「やってみたい」という気持ちが芽生え、挑戦する心が育ちます。



③『朝の日課活動』(脳)

フラッシュカードや百玉そろばんなどを使い、瞬間的に脳へ刺激を与えます。大切なのは「勉強をすること」や「頭をよくすること」ではありません。正しい姿勢で座る、人の話を聞く、正しく鉛筆を持つ、待つ、椅子を机に入れる――“当たり前を当たり前にする力”を幼児の生活に組み込みます。



毎日の積み重ねだからこそ、必要な力が自然と身についていきます。小学校入学後に求められる基礎的な力は、幼稚園での生活の中で無理なく育まれていきます。

～その他の魅力～

☆給食について（食育）

当園は１号認定は週５、２・３号認定は週６の園内調理完全給食です。
管理栄養システムを使用し、メニューの立案や、食育指導を行っております。
さくら幼稚園の食育とは・・・

自分の健康を守り、豊かな食生活を想像する力を育てる

毎日の給食の中で**・食に興味を持つ**
・食べることが好きになる
・栄養バランスのとれた食事で健康な身体を作る

①色々な食材やメニューを知ることで調理法の違い、味の違いを体験する。

②伝統食、行事食、旬の食材を通じて、地域、日本、世界の文化を知る。

③食事のマナーを知り、みんなで楽しく食べる経験をする。

④自園農園での野菜、お米作り、みそ作りなどを体験し、収穫後の試食や調理体験を通じて、育てること、作ることや食べることの楽しさを知る。

⑤食品の極力塩素消毒を避け、道産食材の仕入れを行う。

以上の取り組みを通して、子どもたちが食べる・育てる・作ることの楽しさを知り、みんなで食事を囲む喜びや、作ってくれる人への感謝の気持ちを大切にできるよう育んでいきます。

他にも日本固有の行事の食べものを食べる機会を大切にし、田植え、種植え、雑草抜き、観察、そして収穫の喜び、いただく喜びを味わいます。





☆危機管理対策

危機管理マニュアルの確認と見直しを園内研修を通して行い、非常時への備えに力を入れています。



〇自然災害等による備え

太陽光発電、蓄電、発電機、非常食、水、
非常時対応自販機、毛布

〇不審者対策

電子キー施錠、監視カメラ（25台）、
防御シールド・刺股



〇送迎バス

アルコールチェッカー、子ども取り残し防止システム、
車載カメラ（前後方、車内）、GPSによる走行追跡

〇その他

AED、ポイズンリムーバー、口内吸引ノズル

☆ICTシステム

先生がより充実した教育準備の時間を確保することや保護者の皆様の負担を軽減することを目的として、ICTアプリを導入しております。欠席連絡や預かり保育の申し込みをスマートフォンから簡単に行うことができます。

また、Ｒ８年度より【おうちえん】を運用しています。【おうちえん】では、おたよりの閲覧や園での様子を写真などで確認でき、園での様子をより身近に感じていただけます。写真は無料でダウンロードが可能です。

BUS CATCH 幼稚園・保育園・こども園向け 園支援システム バスキャッチ

おうちえん

☆各種行事

子ども達にとって大切なことは幼稚園に友達がいて、そして楽しい場である事。大好きな友達と様々な経験のなかで様々な事を見て、様々な事を感じる、、、。ご家庭ではできない体験を幼稚園という場で存分に体験してもらえるよう意識し、定番行事はもちろんですが保育活動で行うプチ行事も豊富です。

<Ｒ８年度例>

夏祭り、雪明り、お餅つき、みそ作り体験、水族館見学、動物園見学、田植え、稲刈り、消防署見学、観劇観賞、お泊り会、運動会、保育発表会、潮ねりこみなど

☆**課外活動　「さくら幼稚園放課後クラブ」**

　当園では子ども達の更なる健やかな成長の為、様々な習い事を用意しております。幼稚園での苦手の克服や、得意なこと、好きな活動をより一層深めていただきたいと考えています。2号認定者の増加に伴い、当施設で過ごす時間が長くなる傾向が見られます。その時間をより有意義に活用できるよう、過ごし方の選択肢を増やすことも必要かと思います。

　また、ヒューマンアカデミーとフランチャイズ契約を結び、ロボット(プログラミング)教室とサイエンスゲーツ(科学教室)を開校しております。今後、子どもの成長の手助けとなるツールを確保しています。

※令和８年度習い事例：

ダンス教室・プラス（学習補助）・キッズ運動クラブ
ロボット教室・サイエンスゲーツ

その他にも園を会場に幼稚園児や小学生を対象とした「赤丸体操教室」、「ECCジュニア」、「小樽キッズサッカークラブ」がございます。
詳しくはそれぞれのパンフレット等をご参照の上お申し込みください。







○卒園後小学生への継続した取り組み

さくら幼稚園アフタースクール（ＡＳ）では小学生のお子様をお預かりし、学習支援や体育活動を行っています。『小学校の学童はつまらない』『おうちで宿題をしてくれない』というお悩みの受け皿となり喜ばれております。園近隣の小学校へはバスがお迎えに参ります。また、就労している職員のお子様もここで無料預かりをしております。

さらにさくら幼稚園が主催する小学生イベントサークル『ＡＳα』は月１回を基本とし、虫取りイベント、お花見や運動会など卒園後も教育的に関わりながら成長を見守る体制を整えております。

ＡＳ：学習



ＡＳ：遊び



ＡＳα
～手打ちうどん体験～



令和９年度　募集詳細

１.入園受付について（1号）

○一次募集

令和8年11月2日(月)午前9：00～18：30まで(先着順ではありません)

新園舎玄関窓口で受付を行います。入園申込書及び申請書兼現況届の2点をお持ちください。(内容と押印箇所を確認してください)
その際、面接日を決定させていただきます。
※新2号認定を希望をされる場合は上記書類に加えて、新2号認定の現況届と必要書類も一緒にお持ちください。
新2号認定の可否につきましては、状況を確認の上、 3月末頃にお電話でお知らせいたします。

募集定員を超過した場合はくじ引きにて選出を行います。
2日(月)19：00までに幼稚園から連絡がなかった場合、当選となりますので、受付時に決定した面接日に幼稚園へお越しください。
残念ながら、落選された方にのみ、ご連絡を差し上げます。

○二次募集

一次募集の面談等が終了し次第、幼稚園ホームページやインスタグラムでお知らせいたします。

※一次募集にて定員に満たなかった場合、随時受付を行います。
願書受付後であっても面談等により受け入れをお断りする場合があります。

※２号については小樽市役所子育て支援課へお問い合わせください。
4月入園希望の方は2月15日(月)（一次募集）までの申し込みが必要です。



２.入園時・入園後の経費と納入方法について

別紙をご参照ください。

３.　入園までの日程

・願書受付　11月　2日(月)　　9:00~18:30
・面 談　　11月　4日(水)　　12:00~18:00
・入園説明会 3月 24日(水)　　9:30~
※ 可能な限りご参加ください。 参加が難しい方には「おうちえん」で配信を行います。
・入園式　　4月 10日(土)　　10:00~

4.　保育時間（一号認定者）

・月～金曜日の8：30から14：00までです。
(行事等により変更あり)
・入園日から数日～１週間ほど、11：30降園
13：00降園と、ならし保育期間となります。



○１日の流れ(月・火・水・金)

７：３０～９：００	登園
９：２５	体育活動
９：４５	日課活動
１０：３０	遊びの時間
１２：１５	給食
１３：００	クラス活動
１３：３０	帰りの準備・整理整頓
１４：００	降園



※毎週木曜日はクラス活動を行い、クラスの課題や、結束力を高める活動を行います。
※行事等により変更になる場合もございます。

5.　一時預かり保育について

～１８：００（１号認定者）



①通常預かり保育（降園後の預かり）
1回のご利用に付き450円(おやつ別途50円)
18時以降は延長150円

②土曜日・振替休日（行事の代休）・長期休み（夏休み）預かり
1時間…120円(春・冬休みは１時間140円)
午後おやつ別途50円

③早朝預かり
7：30～8：30まで…100円

※幼児教育無償化により、新２号認定を受けると1号認定の方の一時預かり部分が1日450円まで月11,300円まで補助を受けられます。
新2号認定専用の書類を提出していただきます。

６．送迎バス運行について

乗車希望者を基準にバスコースの設定を行います。遠方の方はご相談ください。

１か月２,４００円

園が指定している保育日数が月１５日以下（７・８・１２・１・３月）の場合は半額、兄弟は一律１,０００円、片道指定半額）

７．給食について

自園調理を行っております。

子ども達の健やかな成長の為に保育教諭が協力し、楽しく食育指導してまいります。

◯１号・２号ともに全給食（１号週５回/２号週６回提供）

・1号料金 副食　3,850円　＋　主食　1,050円
計4,900円

・2号料金 副食（おやつ代含む）5,100円　＋　主食　1,250円
計6,350円

※1号2号共に非課税世帯は副食費のみ免除されます。

８．個人情報の管理について

◯連絡アプリ

連絡網をアプリにて一括送信を行います。

連絡内容をスピーディーに確実に、正確に お伝えできるシステムです。

入園申込書での承認をいただき『バスキャッチ』（園依託業者）のサーバーに登録し厳重に管理しております。

また、園内でもすべてのパソコンにファイヤーウォールを設置、UTMや不正接続遮断システムを完備し、出来る限りの処置を講じております。

◯写真掲載

幼稚園の保育・教育や園児たちの様子を、保護者の皆様やそのほかの皆様にも伝えていくためにフェイスブック・インスタグラム・ホームページ、TikTokにて広報掲載を行っております。掲載を希望されない方は、入園申込書へご記入ください。(日常の保育写真を入園案内やポスターなどに使用することもございます。)

＜　http://www.sakura-ac.jp　＞

９その他

○園運営内容、各費用について

幼稚園運営に関する内容や費用については、様々な事情により年度切り替え時に関わらず、変更することがございます。

○閉園日、保育を提供しない日程

・お盆休み…8月13、14、15日
（内日曜振替。そのため16日(月)はお休み）

・正月休み…12月31日・1月1、2、3日
（内日曜振替。そのため4日(火)はお休み）

・親子で参加する行事が行われた日（運動会など）









～よりよい幼児教育の為に承知いただきたい事～

幼児教育について

当園は、令和元年度より認定こども園として生まれ変わりました。移行理由は上質な幼児教育を出来る限り沢山の子ども達に提供し、当園を利用していただきたいからです。

『さくら幼稚園』という名称通り、幼児教育が基盤となっております。保護者の皆様にはご協力頂かなくては実現不可能な事も多々あるかと思います。その点をご承知いただきご入園ください。

共に創る幼稚園（カスタマーハラスメントへの取り組み）

私たちの仕事は「サービス業」ではありません。幼児教育と保育を通じて、子どもたちの健やかな成長を支えることが本来の役割です。

ご利用いただく皆様には、できる限り快適で安心できる環境を提供できるよう努めておりますが、過度な要求により、本来の保育・教育の質を損なうことにも繋がりかねません。皆さんでより良い園環境を構築していけるようご協力をお願いします。

処遇改善と子どもと関わるべき大人の姿

全職員には積極的に有給の取得を促し、定期的に業務改善を行います。幼稚園たるもの子どもファーストでなければいけないのは勿論ですが、子どもと関わる大人のメンタルサーポートは欠かせません。

「教育者」は「労働者」になってはいけない。これが私の持論です。

しかし、幼稚園教諭という職業が巷では賃金が少ない、残業は当たり前、持帰りの仕事が多い、有給なんて取れない。そんな不満を抱えながら過ごす先生が、素敵な先生として皆様の大切なお子様に確かなパフォーマンスを行えるでしょうか？

働き方改革が推進されているこの時期にしっかりと見直しをはかり、『重要な事』の優先順位を定め効率的な幼児教育を進めています。

これは職員が手抜きをするという事では決してありません。現在の職員は皆、誠心誠意努力し向上心をもって子ども達と関わってくれています。

何が子ども達にとって最善であるかを追求している事をご理解ください。

子ども達も保護者の方も、先生方も『さくら幼稚園』にいる事が誇らしく、ここが大好きになるよう全力を尽くすのが園長の役割だと思っています。

～入園時の重要事項ご承諾について～

ご入園にあたり、以下の内容をご理解・ご承諾いただきますようお願いいたします。

① 施設利用料等の未納について

施設利用料等の納付に関して、以下の点をご確認ください。

•保育料等のお支払いが3か月以上確認できない場合、やむを得ず退園のご案内を差し上げることがあります。

•退園後も、未納分の費用については引き続きお支払いいただく義務がございます。

•ご案内後もお支払いの意思が確認できない場合は、関係機関と連携の上、法的手続き（強制徴収等）を行う場合がございます。

•徴収に至るまでに発生した費用・事務手数料・弁護士に関わる費用等は、全て未納者のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

② ご利用に関する費用について

園の利用に伴う各種費用につきましては、事前にご確認のうえご入園ください。なお、年度途中であっても、物価変動や制度改定等により金額が変更となる場合がございます。

③ 子どもを取り巻く環境について

さくら幼稚園では、子どもたちの健やかな成長を支える保育・教育を大切にしています。当園では、子どもが自ら考え、挑戦し、失敗から学ぶ経験を重視しています。

その中で「リスク（成長に必要な挑戦や学びの機会）」と「ハザード（重大事故につながる危険）」を区別し、安全管理を徹底しています。保護者の皆様には、この考え方をご理解いただいたうえで、園の方針にご協力をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、いつでも園までお問い合わせください。



お待ちしてます☆彡



いつも子ども達に
「がんばれ！」と
声をかけている先生達(^^)
先生達も
【子ども達に頑張る姿を見せよう！】
という事で数年前より
希望した職員で
参加しています♩

職員で運河ロードレースに出場！

★お問合せなどはお電話かLINE、各種SNSにてお願いいたします。
さくら幼稚園→0134-54-6106

LINE QRコード

Facebookはこちら

Instagramはこちら

SAKURA.ASAGAMI

～園内写真📷～





ランチルーム



新園舎階段



２階　ラボ



２階　幼児保育室



1階　乳児保育室



新園舎裏　外観

SAKURA

KINDERGARTEN